

活動案内 2012

# 「子供の森」計画

## in マレーシア



子どもたちの「自然を愛する心」を育みながら地球緑化を進める「子供の森」計画。マレーシアでは、世界的にも貴重な生物多様性に優れ希少動植物の宝庫と知られているボルネオ島の北東端サバ州を中心として、子どもたちの植林活動支援や環境教育を実施しています。

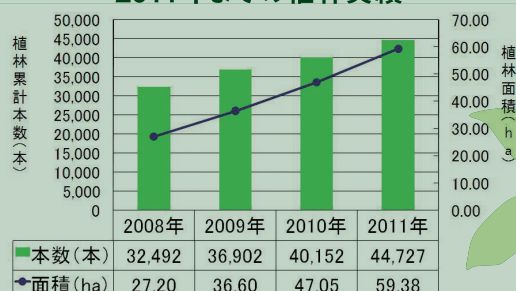
Linylane ©LAYUP

### 2011年の活動

- 2011年は49の学校で重点的に植林活動や環境教育を実施（植林4,575本・面積12.33ha）
- 新しく10の学校で「子供の森」計画が始まりました！
- 生物多様性を学びながら植林を行う世界的なアクション「グリーンウェイブ」にも参加しました

「子供の森」計画参加学校数(1992年からの累計値) : 158校

### 2011年までの植林実績



### マレーシア



- ◆ 人口 : 28,251百万人 (2010年IMF推計値 日本は127,594百万人)
- ◆ 面積 : 約33万km<sup>2</sup> (総務省統計局資料2008年値 日本は37万8千km<sup>2</sup>)
- ◆ 一人当たりGDP : 8,617 US\$ (2011年9月IMF試算値 日本は45,774 US\$)
- ◆ 森林率 : 62% (2010年FAO公表値 日本は69%)
- ◆ 「子供の森」計画積極展開地域 (丸印) : サバ州



マレーシアの活動を支援して下さる方を募集しています。ご支援や各地域の子どもたちの活動の様子はこちらから

「子供の森」計画情報提供サイト  
[www.kodomonono-mori.info](http://www.kodomonono-mori.info)



ベルマークや書き損じはがきも募集しています。ベルマークは1点1円として「子供の森」計画の支援となります。事務局までお送りください。

事務局



公益財団法人  
オイスカ

〒168-0063 東京都杉並区和泉3-6-12  
☎ (03) 3322-5161 ㊚ (03) 3324-7111 E-mail oisca@oisca.org  
<http://www.oisca.org/>





## 植林活動とマレーシア初の「森のつみ木広場」

木のぬくもりを感じ、  
自然への親しみを深めているよ

ナンパサン小学校は、2011年10月、同校では初めての「子供の森」計画を実施しました。74人の子どもたちは、斜面となっている校庭にシナモンなど合計50本の苗木を植えました。また、子どもたちの家族や地域住民合せて数十人もこの活動に参加し、環境保全の大切さや自然との共生について考え行動する貴重な機会となりました。

植林活動の後には、マレーシアでは初めての試みとなる「森のつみ木広場」を実施しました。日本国内では室内で実施していますが、この小学校には体育館などの施設がないため青空の下にカーペットを敷き屋外で開催しました。この地域の子どもたち



積み木の香りを楽しむ子どもたち

は、積み木というおもちゃを見たことがありません。また、身近に木工製品など木のぬくもりを感じるようなものが少ないため、子どもたちは興味津々。想像力が豊かな子どもたちは、積み木の形や色そして木の香りや手触りを楽しみながら、様々な作品を作り出し、木への親しみがまた一段と深まったようです。



はりきって苗木を手にする子どもたち



日刊紙ボルネオポストに大きく掲載された活動記事



## 合同エコキャンプで心も一つに

9つの学校の子どもたちが  
集まって友情を深めたよ

ラングサット小学校は、東アジア最高峰・キナバル山に程近いラナウの町にあります。11月13日～15日の3日間、この小学校でラナウ周辺の学校9校から代表の子どもたちが集まり「子供の森」計画エコキャンプ in ラナウが実施されました。プログラムは、植林、「森のつみ木広場」、ジャングルトレッキング、環境劇の発表、ネーチャーゲーム、環境ビデオ鑑賞、そして周辺地域のゴミ拾い活動など。これらの様々な環境保全活動を通じて、子どもたちの環境に対する意識向上に加え、協調性、責任感、そして自立にも繋がることを目的としました。

植林活動は、途中雨が降り出しましたが、子どもたちはグループに分かれて協力しながら



新しい友達と笑顔で植林

ら合計60本の苗木を全て植えることができました。この3日間のプログラムを通じて、異なる9つの学校から集まった子どもたちは沢山の新しい仲間をつくることができました。今後、彼等の友情は続き、一緒に植えた苗木の成長を共に見守っていただけることでしょ。



9つの学校から参加した子どもたち

## TOPICS

### 植林活動で築く日本との友好関係

2011年10月24日、モハマド・アリ宗教中高等学校は、オイスカ豊田推進協議会一行の訪問を大歓迎しました。以前から「子供の森」計画の活動への参加を希望していた同校は、日本のオイスカメンバーと共にシナモンやモミの木など300本の苗木を植えました。「植林活動をしたら終わりなのではなく、これを機会に私たちの長い友好関係の始まりになることを望みます」と校長先生の歓迎スピーチには今後の友好への熱い想いが込められていました。オイスカは今後も「子供の森」計画の活動を通じて日本とマレーシアの文化交流を推進していきます。



「ようこそ」と日本人の訪問を歓迎